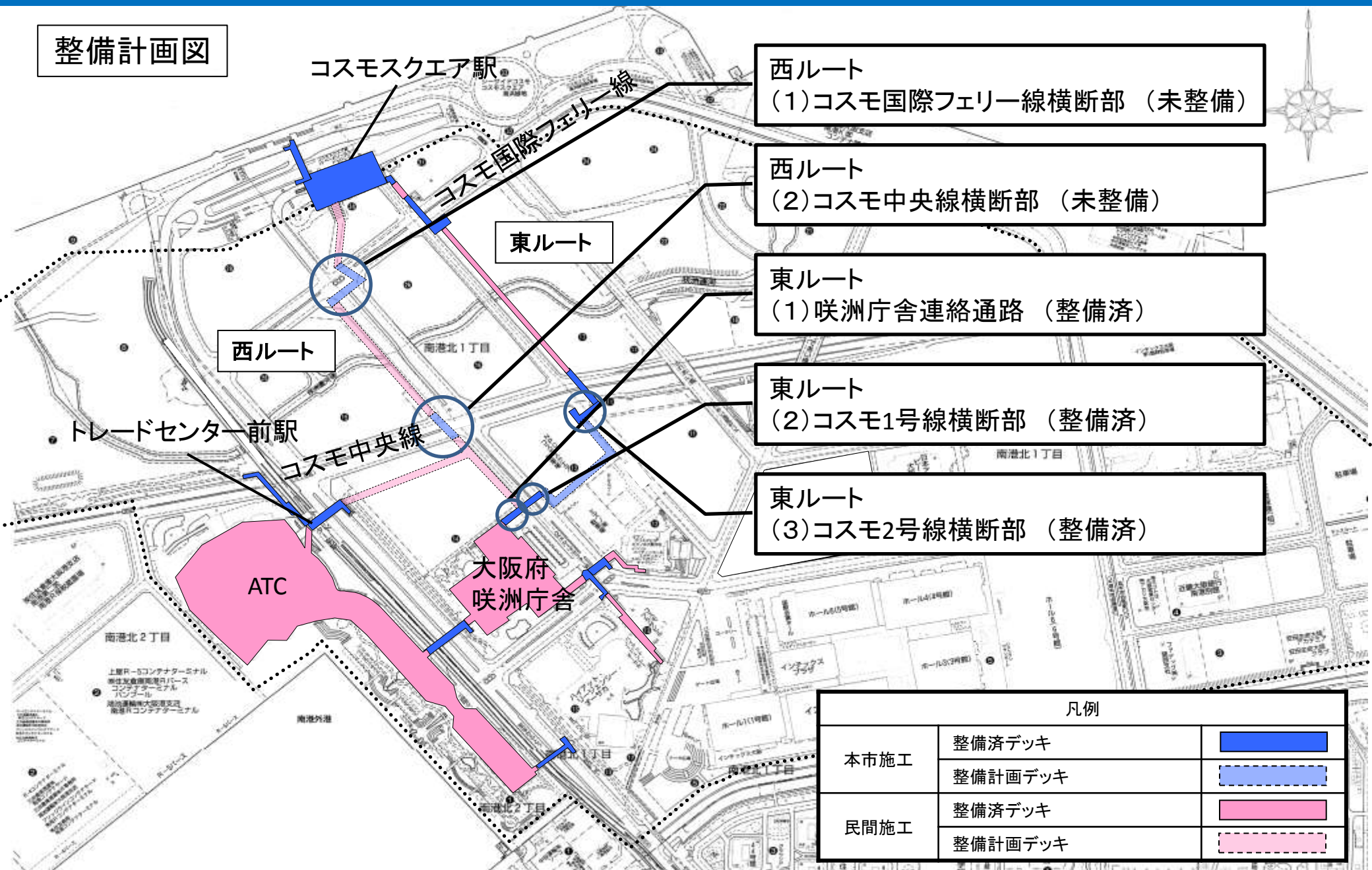


# 図1. 位置図 (2 事業概要 ① 所在地)



# 図2. 事業内容 (2. 事業概要 ③事業内容)

整備計画図



西ルート  
(1)コスモ国際フェリー線横断部 (未整備)

西ルート  
(2)コスモ中央線横断部 (未整備)

東ルート  
(1)咲洲庁舎連絡通路 (整備済)

東ルート  
(2)コスモ1号線横断部 (整備済)

東ルート  
(3)コスモ2号線横断部 (整備済)

凡例		
本市施工	整備済デッキ	
	整備計画デッキ	
民間施工	整備済デッキ	
	整備計画デッキ	

# 図3. 費用便益分析の概要 (3. 事業の必要性の視点 ③費用便益分析)

建設期間:平成22年度～平成29年度  
 基準年度:平成26年度  
 評価期間:建設期間+40年  
 (平成22年度～平成69年度)  
 社会的割引率:4%

便益(現在価値) (単位:億円)

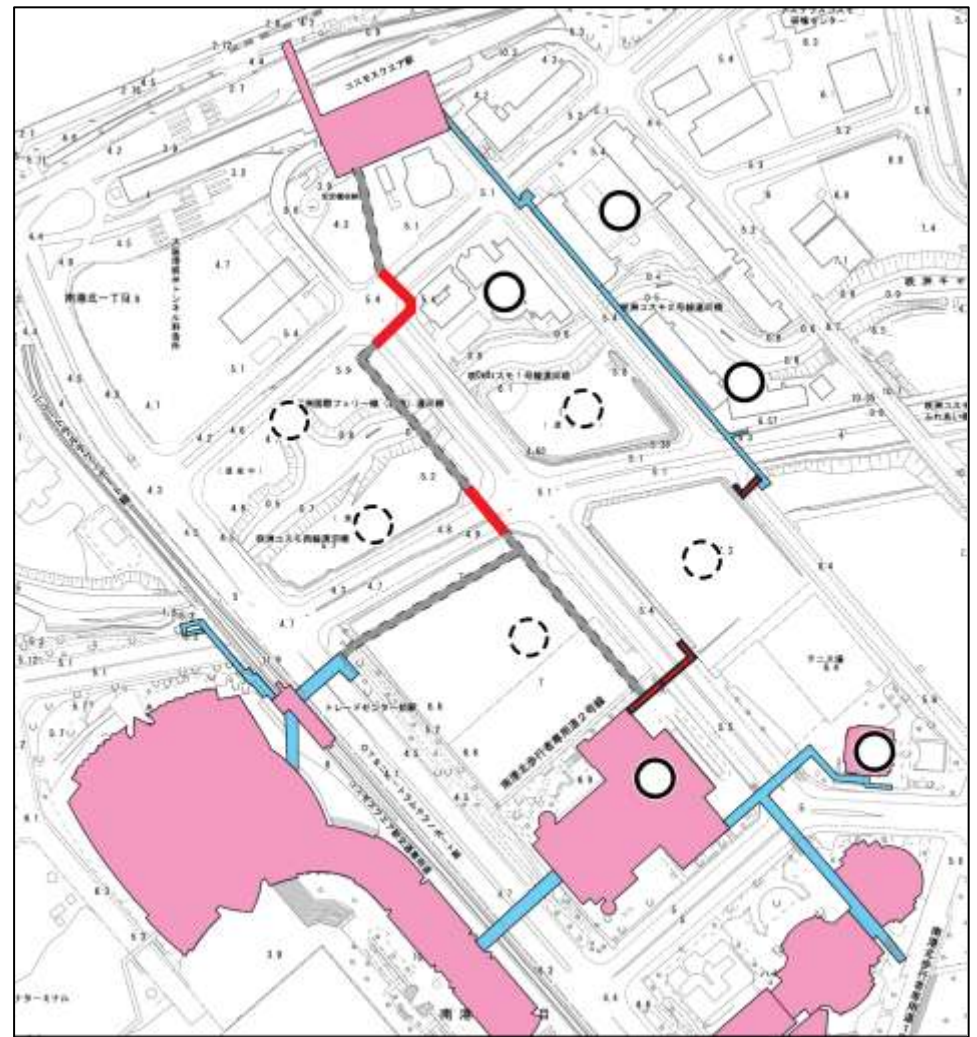
歩行時間短縮便益	10.1
歩行者移動サービス向上便益	4.4
上下移動快適性便益	0.4
<b>便益総額</b>	<b>14.9</b>

費用(現在価値) (単位:億円)

用地費	0.1
施設建設費	8.5
維持管理費	0.6
<b>費用総額</b>	<b>9.2</b>

費用便益比  
 (便益総額の現在価値) / (費用総額の現在価値)

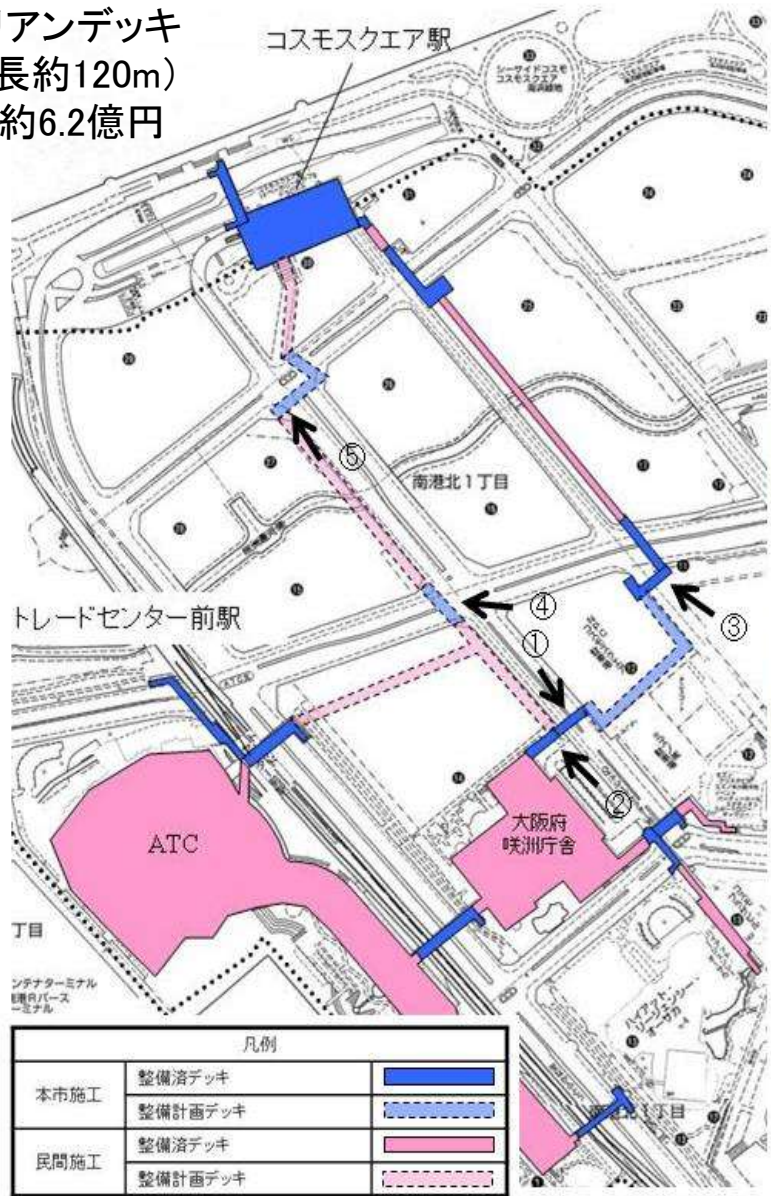
= 1.62



- ペDESTリアンデッキ (未整備)
- ペDESTリアンデッキ (整備済み)
- 民間で整備するペDESTリアンデッキ
- 既存の整備済みペDESTリアンデッキ
- 主な建築物
- 便益計算に用いた歩行者の発生集中する施設 (既設)
- " (未整備施設)

# 図4. 進捗状況 (4. 事業の実現見通しの視点 ②事業規模)

- 残事業の内容
- ・ペデストリアンデッキ (2橋、延長約120m)
  - ・残事業費約6.2億円



①



②



③



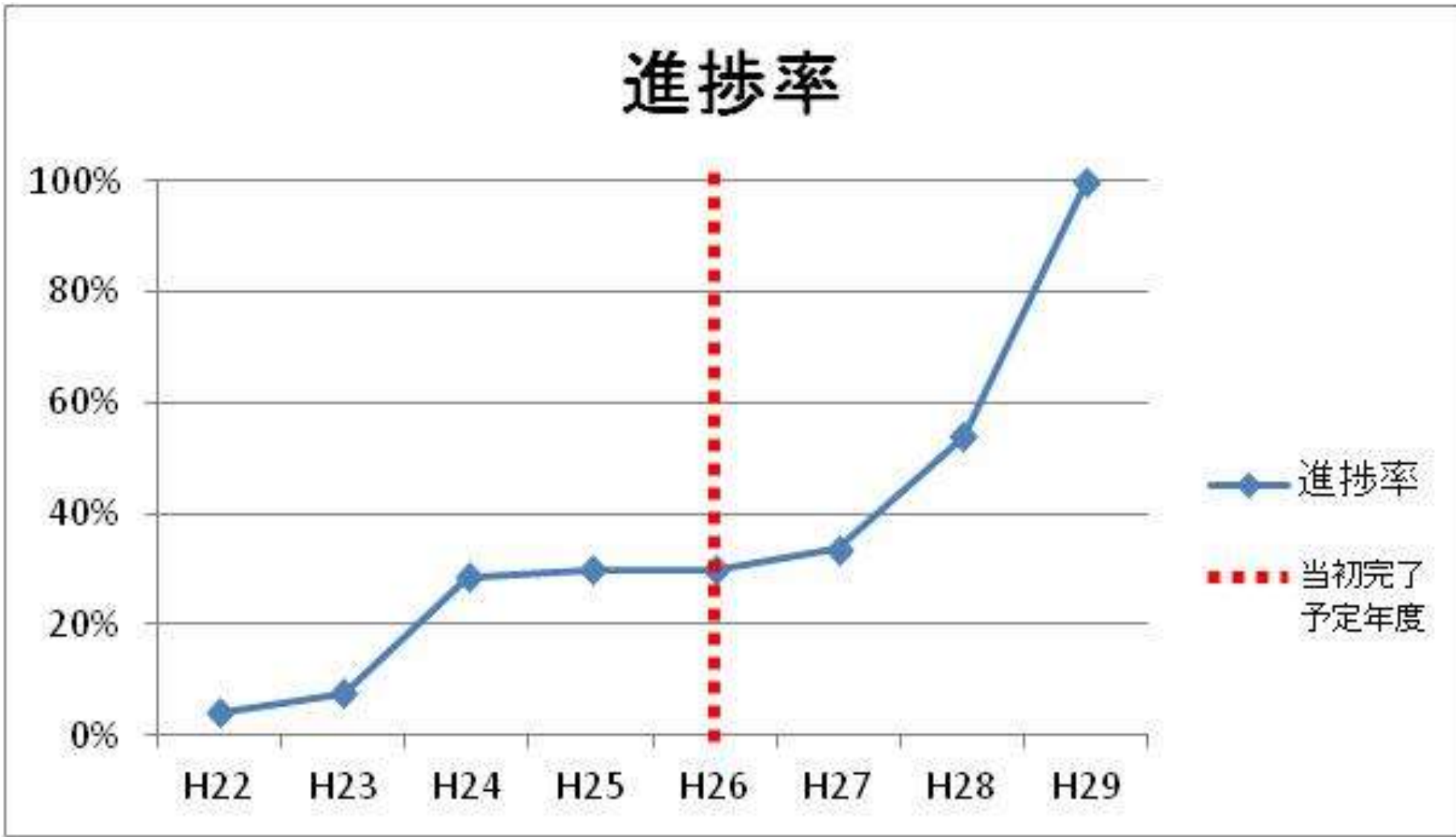
④



⑤

# 図5. 進捗率の推移 (4事業の実現見通しの視点 ③ 総事業費)

総事業費: 約8.9億円 (決算額: 約2.7億円、残事業費: 約6.2億円)  
事業完了予定年度: 平成29年度

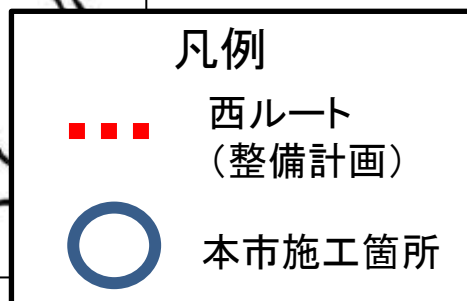


◆遅延状況について

- ・ペDESTリアンデッキはコスモスクエア地区内において、歩車分離による歩行者の安全性の確保と、回遊性を確保するための施設であり、整備計画ルート上の土地所有者の開発計画にあわせて、本市も整備することとしている。
- ・西ルートのコスモ国際フェリー線横断部、コスモ中央線横断部のペDESTリアンデッキについては、整備計画ルート上の土地所有者の開発計画が具体化されていないため、当初の整備計画時期より遅延が生じている。



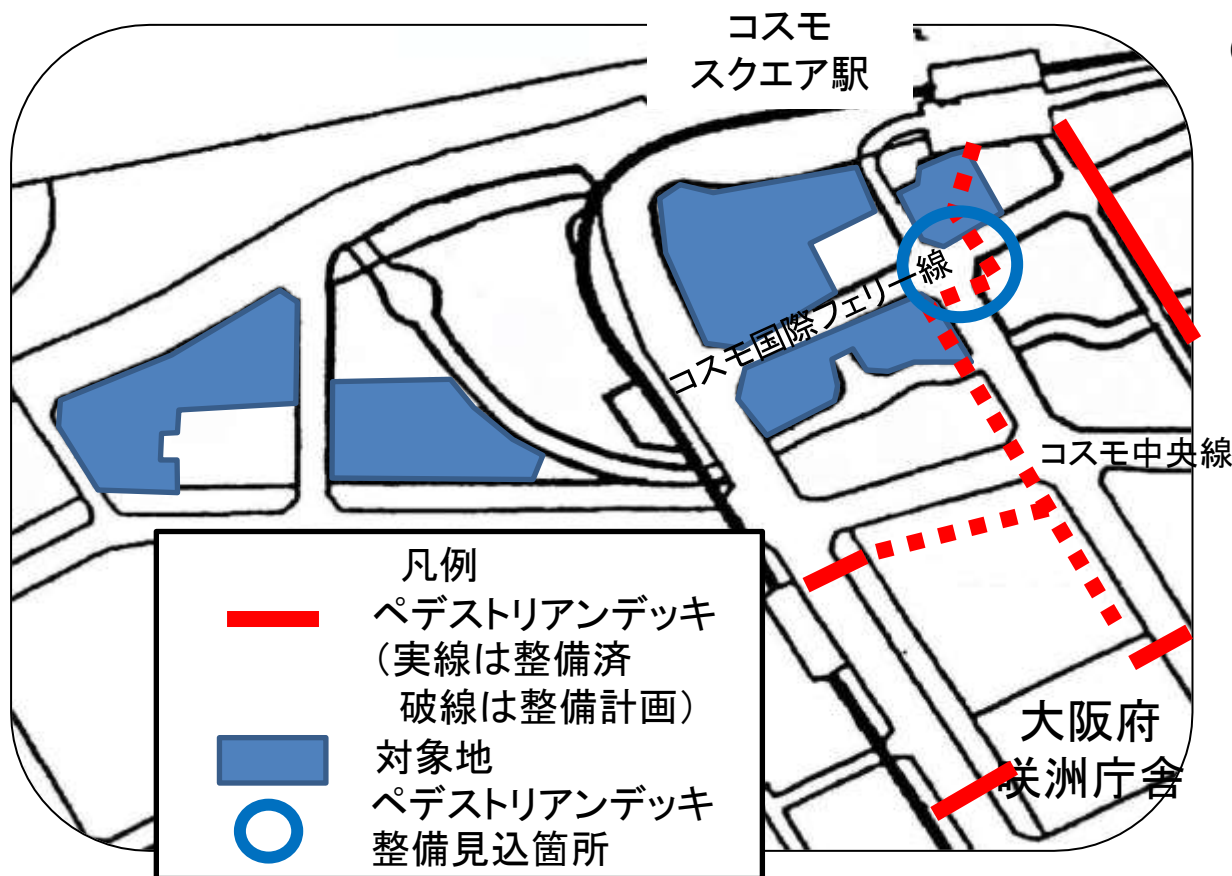
図表番号	土地所有者	現在の状況
①	(株)大阪港	駐車場
②	トランスポート	未利用地
③	システム	未利用地
④	住友商事(株)	一部駐車場 ほか未利用地



## ◆ 咲洲コスモスクエア地区複合一体開発

### ○ 複数地の売却について

- ・民間事業者より、複数区画に対する複合用途の開発の提案があったことを受け、(株)大阪港トランスポートシステムの土地を含む複数区画による駅周辺開発計画提案を募集する。
- ・対象地には西ルート上の土地2区画(6ページの①、②)も含まれており、以下のとおり開発計画について条件を設定している。



### ○ 開発計画にもとめる必須条件について(一部抜粋)

- ・複数画地による大規模開発とし、ペDESTリアンデッキやキャナル沿いの歩行者通路等を活用した歩行者ネットワークが形成される計画

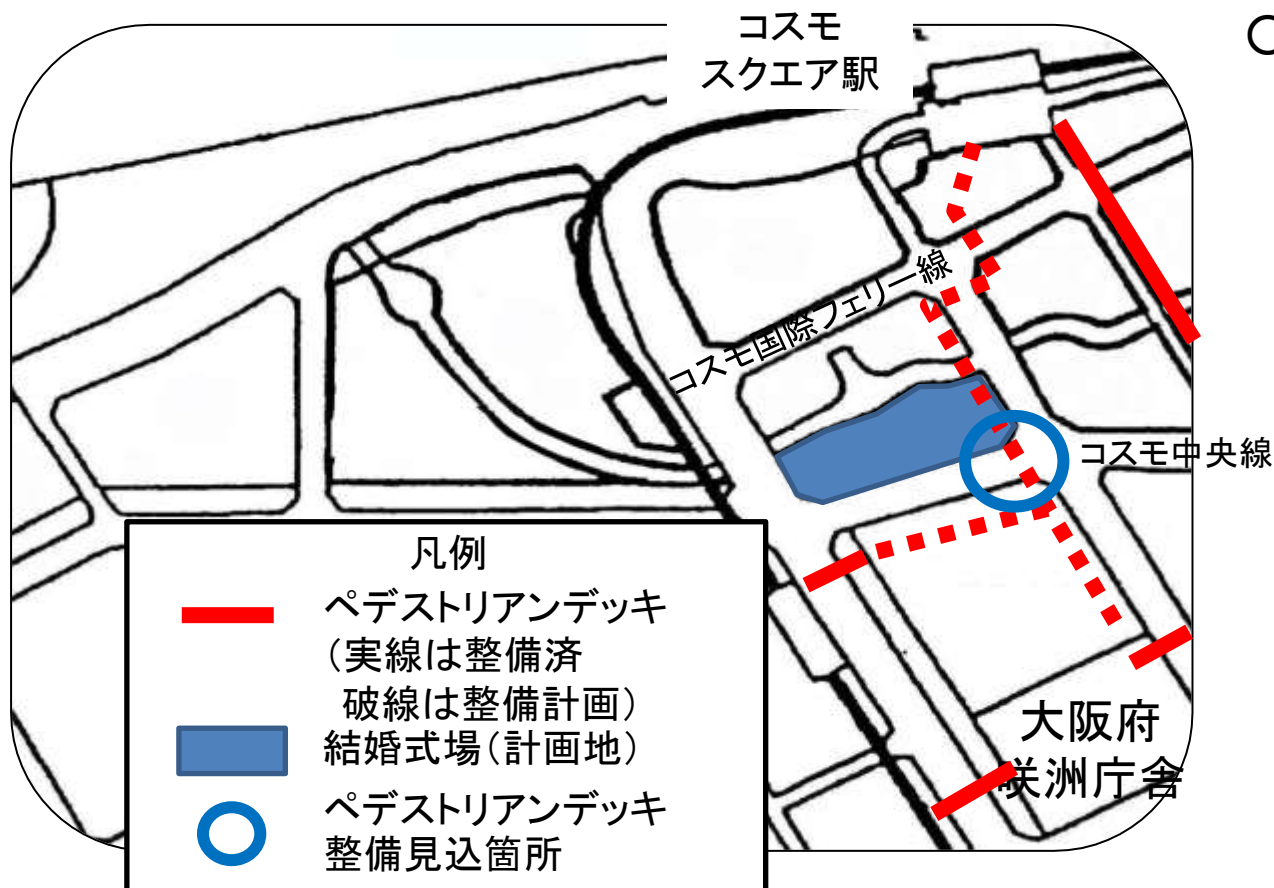


開発計画が具体化  
+  
コスモ国際フェリー線横断部  
ペDESTリアンデッキ整備見込

◆結婚式場(計画)

○開発計画について

- ・平成26年3月末に土地所有者である(株)大阪港トランスポートシステムと民間事業者の間で20年間の定期借地契約を締結した。
- ・結婚式場の開発を計画している。



○ペDESTリアンデッキ整備について

- ・民間事業者が定期借地契約を締結する際に、周辺地域の開発が進みペDESTリアンデッキを整備する際には、当該地内においても整備することを文書により約束



開発計画が具体化  
+  
コスモ中央線横断部  
ペDESTリアンデッキ整備見込